

令和4年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	1902	領域略称名	和解学
研究領域名	和解学の創成-正義ある和解を求めて		
領域代表者名 (所属等)	浅野 豊美 (早稲田大学・政治経済学術院・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、戦争と植民地支配という「負の遺産」を抱える東アジアにおいて国民間の和解の「想像」を可能とする社会的条件の探求を目指した領域である。「正義ある和解」を希求し、新たな理論的枠組みの端緒を提示するに至ったことに加え、国際和解学研究所の設置、叢書の公刊、国際和解学会の設立など、新学術領域の基盤整備に向けた精力的な活動が行われた点において、本研究領域は大きな成果を上げたと評価できる。他方で、既存の学術領域とは異なる新学術領域の根幹をなす理論の深化・精緻化という観点では、正義の複数性や、東アジア以外の他地域への適用可能性など、今後も検討が必要とされる課題が残されており、今後の発展的継続が期待される。また本研究領域の成果を積極的に社会に発信していく方法についても、引き続き検討が望まれる。